

ふれあいネットワーク



社協

まつもと



健康寿命
学ぶ楽しさも
延伸で
延伸



「超少子高齢型人口減少時代となり、健康寿命を伸ばし、いのちの質、人生の質を上げていくことが大切になっています。」

そして、「健康と幸福、平和は市民のみなさん共通の願いではないでしょうか。」

社協が受託運営している、松本市老人大学（7月15日開催）で菅谷市長が講演。聴講されている220名のみなさんを前に、時折、ユーモアを交えながら20年、30年先を見据えたまちづくりについて熱くお話しされました。

- ・松本市社会福祉大会から…………… 2 P
- ・地区社協の行事紹介…………… 3 P
- ・「防災の日」から…………… 3 P
- ・ボランティア情報「こてまり」…… 4～5 P
- ・平成21年度共同募金の協力依頼と
使いみち…………… 6 P
- ・車いす、福祉自動車の貸し出しの紹介… 6 P

平成21年 No.184
9月15日号



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail: syakyoum@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

私にもできる安全・安心な地域づくり

力を合わせて、住みよいまちづくり ～松本市社会福祉大会～

地域の課題をみんなで解決 堀尾正明さんが提唱

平成二十一年度松本市社会福祉大会が七月二十五日、約八百名の参加を得て音楽文化ホールで開催されました。

大会では、社会福祉事業に功勞のあった三十六の個人・団体が表彰されました。続いてフリーアナウンサーの堀尾正明さんに「ご近所から、あなたの世界は変わります！」と題して講演をいただきました。



表彰を受けた方々



堀尾さんは、NHK在籍時の現場取材で培った豊富な知識や経験をもとに、DVDを交えながら住民による地域課題の解決事例を紹介し、向こう三軒両隣に代表される近所付き合いの大切さについて、ユーモアたっぷりに熱く語られました。

◆堀尾正明さんの講演(要旨)

☆ 人口が減少し、高齢化が進む中では、税収も減り、



語りかける堀尾さん

現行の行政サービスが維持できなくなります。
住民が主体的に、地域の課題を解決していく力を付ける必要があります。
☆ かつては、井戸を囲むでの会話などで、ご近所同士のコミュニケーションがとれていました。
向こう三軒両隣の豊かなつきあいを知っている世代が、コミュニケーションを図る努力をすることが必要です。
☆ ご近所、地域で挨拶をすることで、空き巣などの犯罪も減り、街が明るくなります。
☆ 志を高く、いろいろな意見を聞く柔軟性を持ち、テレビやインターネットなど新しいメディアを利用して、地域での活動を進めてください。



熱気を帯びる会場

◆参加者の声

(アンケートから)

- 私たちの知らないところで頑張って表彰された方が多くて驚いた。
- 初めてこのような大会に参加したが、考えさせられ、教えられた。
- 福祉とは、お互いの助け合いだということがわかった。
- 昔のような近所付き合いのできるまちになっていけば、一人暮らしの人も元気になるのではないかと思います。
- 地域の力、人との絆の大切さを強く感じた。

おやこチャレンジ教室

初の三地区社協事業 ～元気な声、響く～

梓川・安曇・奈川の三地区社協が主催する「おやこチャレンジ教室」が七月五日、梓川ふるさと公園で開かれ、子どもたちの元気な声が響きました。



笑顔で水面をすすむ

三地区の交流を目的として、初めて企画された事業に親子九十名が参加。レクリエーションや修景池での力ヌー遊び、周囲の草花を使って草木染めを体験。また、アウトドアクッキングでは親子、友だち同士でサラダやから揚げ、蒸しパンづくりにもチャレンジ。流しそうめんも味わいました。

今回、三地区合同で開催した事業は今後、十一月に安曇地区、二月に奈川地区で開催する予定です。親子で参加した母親は、「子どもに自然の中で多くのことにチャレンジしてほしいし、次回も親子で参加したい」また、子どもたちも「みんなで力を合わせてできることが楽しい」と、早くも次回を楽しみにしていました。



流しそうめんにも舌鼓を打つ



草木染めで色を楽しむ



防災の日 ～ 家族、ご近所で日頃から備えを ～

9月1日は「防災の日」でした。これは、大正12年のこの日に起きた関東大震災の教訓を忘れない、という意味をこめて制定されたものです。

近年、大規模地震や先の豪雨災害など数多く災害が発生しています。大規模災害が発生した場合、公的機関による支援体制が整うまで、時間がかかることが予想されています。非常持ち出し品や災害時の避難経路、避難場所、緊急時の連絡先など、ご家庭やご近所で話をして確認することも、被害を軽減させることに有効であると言われています。

松本市社協では、出前講座を行ない、非常持ち出し品の紹介や防災マップづくり等のお手伝いをしていますのでご利用ください。

非常持ち出し品の一例

現金 通帳、免許証や保険証のコピー 非常食品3日分 水



救急用品と常備薬 生活用品 懐中電灯 ラジオ

「こてまり」はこんな情報を発信しています！

- ・ボランティア活動についての情報
- ・活動者、団体の紹介
- ・講習会や行事などの紹介

<問い合わせ/申し込み>

松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター
TEL(0263)25-7311 FAX(0263)27-2239

ボランティア情報 こてまり

福祉教育の活動紹介

中学生の交流ボランティア (鎌田中学校と庄内福祉ひろば)

7月13日に、鎌田中学生と庄内地区福祉ひろばとの交流会が開催されました。ひろばに到着した中学生は、まず、草取りや窓ふきなどの作業を行ない、年配の方には大変な作業なので、とても喜ばれました。作業の後は、ひろばの皆さんが準備してくださった伝統的な七夕饅頭でお茶会を楽しみました。

後半は、中学生出題のクイズで盛り上がりました。

暑い中の草取り作業



盛り上がった『鎌田中学校』クイズ

最後に、中学生からひろばの皆さんおひとりおひとりに折鶴が贈られました。ひろばの皆さんと中学生達が、それぞれ心を配って準備を重ねてきたことが感じられて、気持ちがなごむ温かい交流会となりました。



市民活動フェスタ2009 in松本 市民パワーで地域を活性化

松本市内で活動する市民活動団体やボランティア団体が、交流を深めこれからの活動のあり方を考えるとともに、それぞれの活動を多くの市民に紹介し、活動への参加を呼びかける機会とします。

2日間の日程で開催します。1日目は、「フォーラム」で講演会、フリーディスカッションなどを行ない、2日目は「フェスティバル」として、市民活動団体やボランティア活動の紹介、パネル展示、映像での紹介、参加型ワークショップを行ない、外の正面通路では交流カフェ、福祉施設の展示販売や各種マーケットを実施します。

日程・内容等：

9月26日(土) 午後1時30分～4時 ◆フォーラム(講演会、フリーディスカッション)

9月27日(日) 午前10時～4時 ◆フェスティバル(ブース展示、ワークショップ、交流)

会場：松本市あがたの森文化会館 講堂及び正面通路

申し込み：ワークショップに参加を希望される方は、下記までお申し込みください。

参加費：無料



どうぞ、お誘い合わせのうえ
ご参加ください！！

詳しい問い合わせお申し込み先
松本市市民活動サポートセンター
TEL 88-2988



ボランティアグループ紹介



美しい調べに癒されるひととき…



《安曇野フルートアンサンブル》(代表：山岸弥生さん)はフルートの演奏による音楽ボランティアグループで、現在14名で活動中です。

訪問先の皆さんの笑顔と、『ありがとう♥』ということばに、逆にエネルギーをもらいます。

現在、メンバー募集中です！

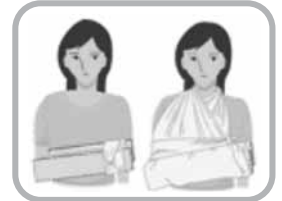
お問い合わせ・・・ボランティアセンターまで
TEL 25-7311



日赤救急法救急員養成講習会 (松本会場)

私たちの身のまわりでは、思わぬ病気や交通事故、災害が多発するようになってきています。いつ自分の身に襲いかかってくるかわかりません。事故を未然に防止し、正しい応急手当の知識と技術を身につけ、実践できるようになることが赤十字救急法の目的です。皆さまに健康で安全な生活を送っていただけるように、救急法講習会を開催します。

- ・対象 満15歳以上で全日程参加できる方 25名(先着)
- ・日時 10/17(土)午前9時～4時30分(基礎講習のみの方は午後2時迄)
10/24(土)・10/25(日) 午前9時～午後4時30分
- ・場所 松本市総合社会福祉センター3階(松本市双葉4番16号)
- ・内容 救急法概論、心肺蘇生法、AED、止血、包帯法など学科と実技
- ・持ち物 筆記用具、実技のできる服装
- ・参加費 3,000円(教材費、保険代)初日に納入いただきます



申し込み・問い合わせ 日赤松本市地区事務局 TEL25-7311 FAX27-2239
詳細は日赤長野県支部 URL <http://www.nagano.jrc.or.jp>を参照

ボランティア募集しています



ONE 囲碁、将棋の得意な方はいませんか？施設や在宅でお年寄りの相手になってくださるボランティアさんを募集しています。



TWO 病院で患者さんをご案内するボランティアさんを募集しています。継続的にご協力いただける方がいたら、ぜひご連絡ください。



THREE 視覚障害の方に小説などの本を朗読してくださるボランティアさんを募集しています。車での移動が可能な方がありがたいです。

申し込み・問い合わせ 松本市社会福祉協議会
ボランティアセンター TEL 25-7311



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

温かなご協力をお願いいたします ～赤い羽根共同募金～

赤い羽根共同募金運動が10月1日から12月31日までの期間で、全国一斉に行なわれます。本年度松本市の目標額は、33,398千円です。

みなさんから寄せいただいた募金は、さまざまな福祉事業に使わせていただいております。

市全体の事業として

- ・車いす、福祉自動車の貸し出し
- ・「社協まつもと」の発行等広報活動
- ・松本市社会福祉大会の開催
- ・社会福祉普及校の助成
- ・ボランティア活動の育成
- ・町会児童遊園地の整備
- ・町会福祉活動の推進など



ボランティア交流集会

各地区の事業として

- ・敬老祝賀会の開催
- ・ふれあい会食会の開催
- ・子育て支援の実施
- ・地区ふれあいまつりの開催
- ・ボランティアの育成
- ・見守り安心ネットワークの推進など



ふれあい運動会（今井地区）

その他

- ・県の広域的な福祉事業（施設の改修・整備、福祉団体が開催する講習会への補助など）に活用されています。

ご利用ください！～福祉自動車や車いすの貸し出し～



介護を必要とする高齢者や身体障害者（児）等で、車いすが必要な方やその家族に、福祉自動車（車いすが搭載できる車）や、車いすの貸し出しを行っておりますのでご利用ください。

※なお、貸し出しについては、予約状況や貸し出し条件がありますので、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】地域福祉課 電話25-7311

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。